

主催事業紹介 「かわいい！ ミニチュアクラフト」

実施日：10月7日（土）晴

参加者：15人



ミニチュアクラフトは、紙や粘土などの素材を使って、実際の家や本などを12分の1の大きさで作るものです。18世紀頃からヨーロッパの貴族の間で流行しました。現代の日本でも女性を中心にとても人気があります。講師は都内で多くの展覧会やワークショップを行うなど、ミニチュアクラフトの第一線で活躍している田中玲子先生です。参考として、製作に3ヶ月かかった大作も持ってきてくださいました。（左の写真。2作品とも）

今回作るのは、鳥の巣箱です。巣箱だけではなく、飾るときの箱や巣箱の中の鳥の巣、卵まで作ります。巣箱や箱は堅い紙を使って作りますが、ボンドをつけるノリしろは紙の厚みだけというとても細かい作業です。型紙に書いてあるサイズも10分の1ミリ単位という精密さですが、みんな器用に作っていくことができました。



巣箱はそれぞれ色鉛筆で好きな色や模様を描きかわいい巣箱ができました。鳥の巣は麻ひもを指でもやもやになるまでていねいにほぐし、ノリで固めて形を作りました。

全般にかなり高度な作業でしたが、子どもから大人まで楽しく製作することができました。感想を聞いてみると「ミニチュアづくりがこんなに難しいとは思わ

なかった。でもすごく楽しい。」
「自分で実際につくってみて、ミニチュアを見る目が変わりました。」という声が多数ありました。

